

金融機関のための新常識！

脱VPNと既存VDI活用で実現する 段階的な**ゼロトラスト化**とは？



株式会社レコモット

◆◆ moconavi

INTRODUCTION

近年、金融機関を標的としたサイバー攻撃はますます高度化・巧妙化しており、内部不正や外部からの侵入、標的型攻撃など、その脅威は増大し続けています。顧客の機密情報を守り、事業継続性を確保するためには、強固なセキュリティ対策が不可欠です。

しかし、従来の境界型セキュリティでは、これらの脅威に十分対応しきれないケースも少なくありません。

本書では、金融機関が直面するセキュリティ課題に対し、「moconavi（モコナビ）」がどのように解決策を提供できるのかを解説します。

INDEX

増加するサイバー攻撃と金融機関の脆弱性	3	Office ファイルの編集も安心	11
VPNが最大のリスク！	4	既存のVDIとの併用も可能！ リモートデスクトップサービス『moconavi RDS』	12
ゼロトラストセキュリティ対応の3つの課題	5	スマホやタブレットでもセキュアな環境に	13
moconaviが解決するセキュリティ課題	6	まとめ	14
moconaviのゼロトラストカバレッジ	7	トライアル・サポート体制のご紹介	15
moconavi導入のメリット	8	会社概要	16
moconaviでゼロトラストセキュリティを更に進めるサービスとは？	9	お問い合わせ	17
ゼロトラストセキュリティを実現！ゼロトラストブラウザ『mococho』	10		

増加するサイバー攻撃と金融機関の脆弱性

金融機関は、ランサムウェア攻撃によるシステム停止や情報漏えい、サプライチェーン攻撃による委託先の脆弱性を突いた侵入、内部不正による顧客情報の持ち出しなど、多岐にわたるセキュリティリスクに晒されています。これらの脅威は、企業の信頼を失墜させるだけでなく、甚大な損失をもたらす可能性があります。

近年見られるセキュリティリスク

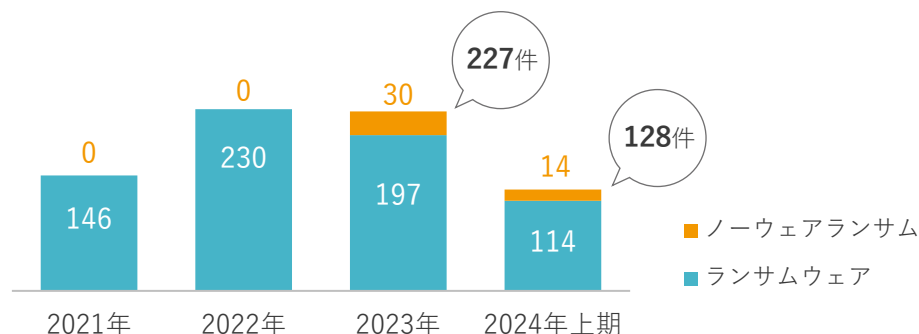
ランサムウェア攻撃

VPN機器の脆弱性を悪用した不正アクセスによるランサムウェア感染により、業務遂行が難しくなるケースが発生しています。

また、データを暗号化せずに窃取し、対価を要求する「ノーウェアランサム」の被害が発生しています。

2023年はノーウェアランサムを含めた被害件数は227件、2024年の上期では128件と高止まりの状態が続いています。

ランサムウェアの被害件数



サプライチェーン攻撃

金融機関のシステムやソフトウェアは年々複雑化しており、その結果、**サプライチェーンへの依存度が高まり、内在するサイバーリスクも増大**しています。

2022年に発表された金融庁の『[金融分野におけるサイバーセキュリティに関するガイドライン](#)』では、サプライチェーン攻撃への適切な対応を求めています。

内部不正

行員や外部委託業者による顧客情報の持ち出しや、顧客口座からの不正送金といった金融不祥事が発生しています。これは、**内部監査の機能不全によるリスクが影響**しており、**システム管理の重要性が一層強まっています。**



顧客データ



開発環境



私用端末や環境に転送

出典：警視庁『令和6年上半期におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について』

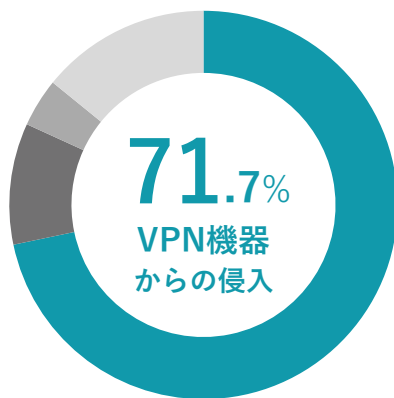
VPNが最大のリスク！

ランサムウェア（ノーウェアランサム含む）攻撃の多くは、サプライチェーンも含め、VPNまたはVPNの脆弱性を狙った攻撃が主な要因です。また、VPNの脆弱性だけでなく、認証情報の対策不備も攻撃の原因となっており、内部不正においては認証権限の設定不備が指摘されています。これらの課題を解決するためには、VPNから脱却し、ゼロトラストセキュリティへの移行が求められています。

VPNがもたらすセキュリティリスク

VPNの設定ミスや管理不足を狙った攻撃が急増しています。ランサムウェアの脅威は、関連子会社や取引先まで含むサプライチェーン全体に広がり、常にリスクとなり得ます。

ランサムウェアの侵入経路



■ リモートデスクトップからの侵入 10.1% ■ その他 14.1%
■ 不審メールやその他添付ファイル 4.0%

注：図中の割合は小数点第一以下を四捨五入しているため、統計が必ずしも100になりません
出典：警視庁『令和6年上半期におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について』

VPNのよくある課題

- 課題 1 PCにVPNエージェントの導入が必須
- 課題 2 脆弱性が多く、パッチ適用が間に合わない
- 課題 3 負荷集中、キャパシティ、権限に応じた管理が難しい

安全なリモートアクセスが可能となる
ゼロトラストセキュリティ
への対応が求められる



ゼロトラストセキュリティ対応の3つの課題

金融機関の多くでは、ゼロトラストセキュリティへ移行するにあたり、以下のような課題が存在します。

課題 1

エンドポイントの課題



VPN中心の運用の場合、VDIの利用でエンドポイントの管理を行っており、**VPNがなくなると、VDIをリモートから使う際にエンドポイントのセキュリティに課題が生じます。**

また、EDR※といったエンドポイント向けサービスは誤検知も多く、運用が難しいことも課題です。

課題 2

カバレッジとコストの課題



ネットワークサービスやエンドポイントサービス、ログ監視、クラウドサービス対応など、ゼロトラスト・セキュリティは1社のサービスで完結することはありません。

ひとつのサービスでのゼロトラストのカバレッジが広く、低コストのサービスがないことが課題です。

課題 3

VDIのライセンス課題



VDIのライセンス価格が高騰している一方で、金融機関の多くは複数年のライセンス契約が残っているため、**数年間はVDIを有効活用する必要があります。**将来的にはブラウザへの移行が予定されていますが、当面は**VPNがなくても、VDIを外部から利用できる仕組みを維持することが課題です。**

※EDR・・・エンドポイント（PC、サーバーなど）における不審な挙動を検知し、迅速な対応を支援するセキュリティソリューションのこと

moconavi（モコナビ）は、データレス設計で情報漏えいを防ぎ、VPN不要で安全な外部アクセスを実現します。既存VDIとの併用も可能で、ゼロトラスト環境を構築し、金融機関が直面する多くのセキュリティ課題を解決します。

金融機関のセキュリティ課題を解決！



データレス設計で 情報漏えいリスクを低減

サンドボックスやセキュアコンテナを活用し、端末にデータを残さないことで、情報漏えいを防ぐ安全な環境の構築が可能です。



VPN不要のアクセス管理と エンドポイント管理

moconaviはVPN不要で安全な外部アクセスを実現し、エンドポイントの安全性も担保できるため、安価で広範囲をカバーする、ゼロトラスト環境を構築可能です。



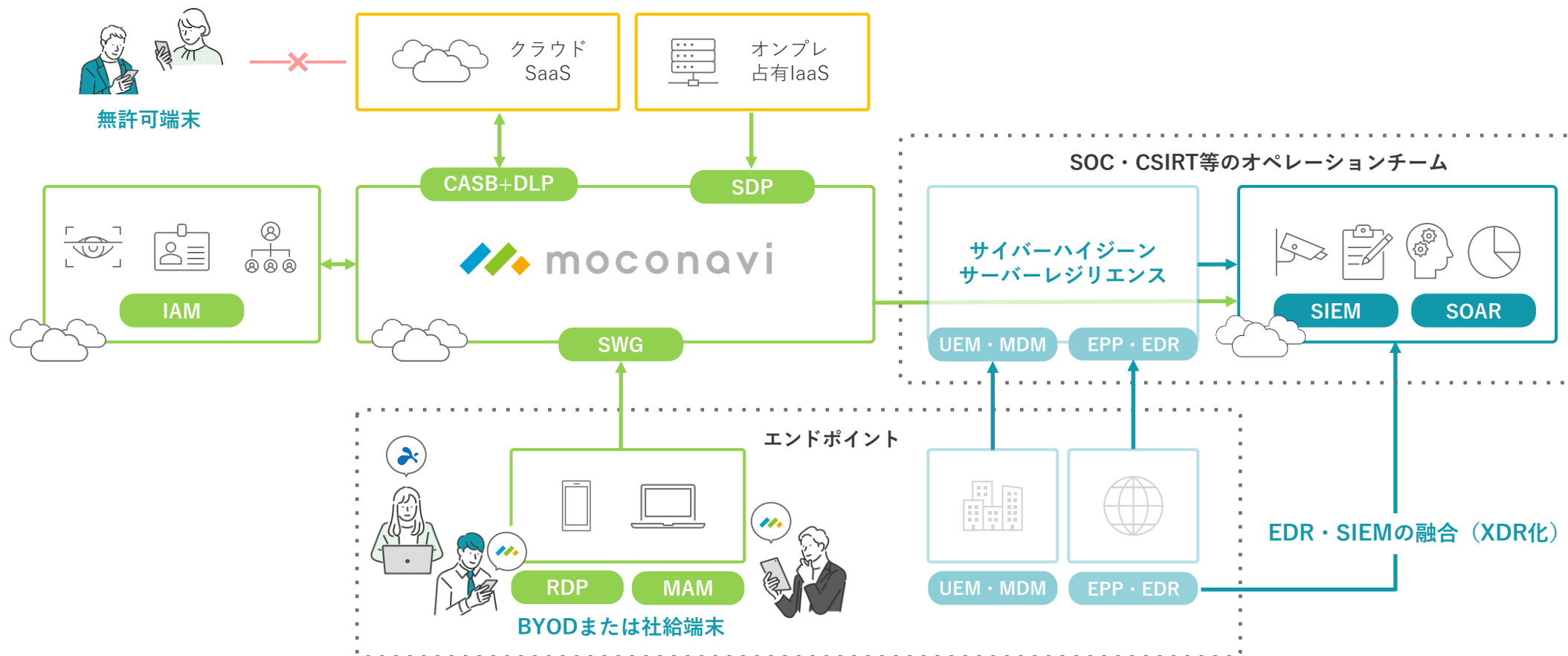
既存のVDIと併用可能な ゼロトラスト環境

契約中のVDIを併用しながら、ゼロトラスト環境を構築できます。VDIを用いて機密性の高い情報を扱いながら、安全な通信環境をmoconaviで実現可能です。

moconaviのゼロトラストカバレッジ

moconavi（モコナビ）は、ゼロトラストの主要部分のカバレッジを実現しています。

既存のVDIとの併用も可能で、VPN機器や証明書を必要とせず、データを残さない設計になっているため、金融機関特有のセキュリティ課題を解決します。



moconaviが提供する機能

moconavi導入のメリット

moconavi（モコナビ）は、金融機関が直面する多岐にわたるセキュリティリスクに対応し、最適なゼロトラスト環境を提供します。強固な認証基盤、デバイス管理、閉域網接続により、金融機関特有の脅威を軽減し、セキュアな環境の構築を支援します。また、既存のVDI環境と併用できるため、段階的なゼロトラストへの移行にも貢献します。

課題

エンドポイントの課題

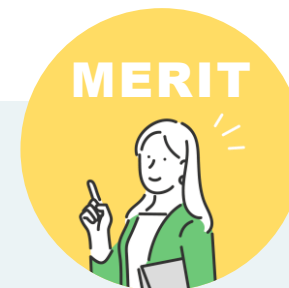
カバレッジとコストの課題

VDIのライセンス課題



- ✓ 端末や通信経路に一切データを残さない
- ✓ 強固な認証サービスや生体認証に標準対応
- ✓ 標的型攻撃も無害化、メールやファイルをセキュアに

- ✓ ゼロトラストセキュリティを標準搭載
- ✓ 既存のVDIと並行して運用可能



ランサムウェア・内部不正・
サプライチェーン攻撃
からの防御



ネットワークも
エンドポイントも
幅広く保護

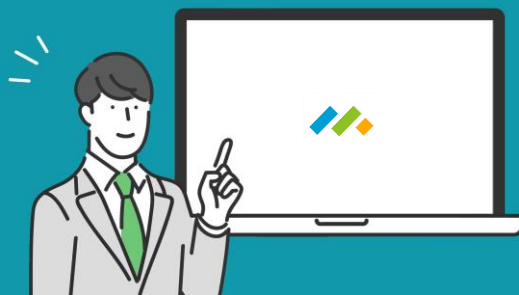


段階的な
ゼロトラスト移行
が可能

SERVICE

moconaviで

ゼロトラストセキュリティを
更に進めるサービスとは？



- ゼロトラストブラウザ『mococho』
- リモートデスクトップサービス『moconavi RDS』

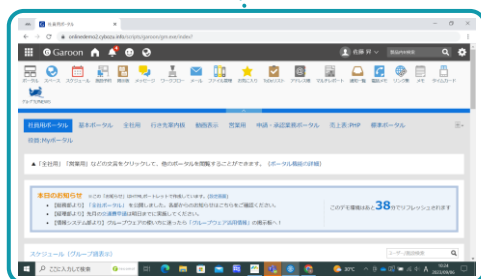
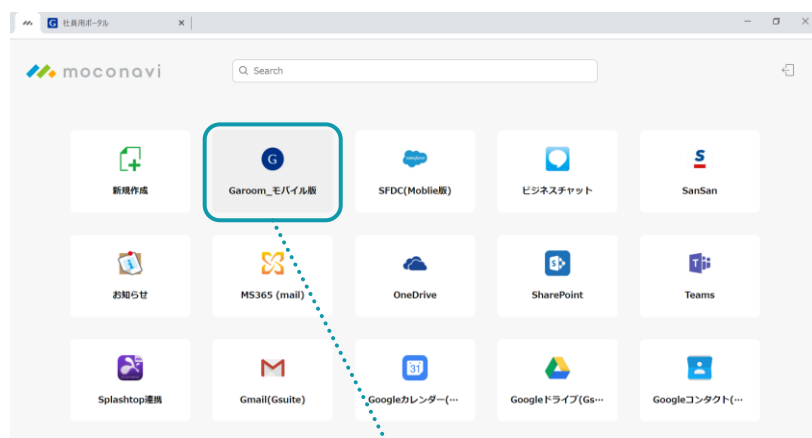
ゼロトラストセキュリティを実現！ゼロトラストブラウザ『mococho』

mococho（モコクロ）は、moconavi（モコナビ）に搭載された高機能セキュアブラウザです。

Chromium※をベースに開発されており、Google ChromeやMicrosoft Edgeに似た見た目と操作性を実現しています。

高いセキュリティ機能を搭載し、ゼロトラストセキュリティに対応したブラウザとして、より安全なブラウジング環境を提供します。

利用アプリを集約できるmocochoホーム画面



クラウドサービスへ簡単アクセス

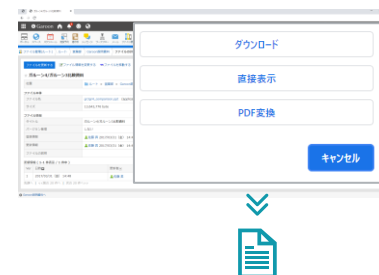
万全のセキュリティ機能を標準搭載

利用アプリケーションの制限



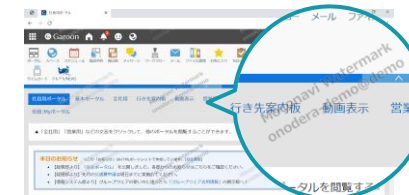
- ブックマークの利用可否制御
- URL入力欄の利用可否制御
- 画面キャプチャ・コピー・ダウンロード可否制御

ダウンロードファイルの無害化



- 無害化してダウンロード

ウォーターマークの表示



- ウォーターマーク(電子透かし)で画面キャプチャ抑止

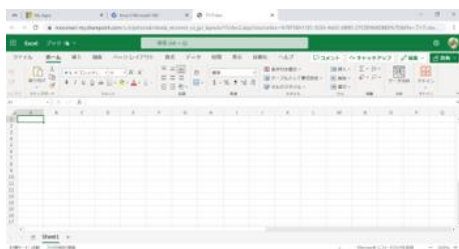
※・・・Chromium：フリーかつオープンソースのウェブブラウザ向けのコードベース

Officeファイルの編集も安心

mococho (モコクロ) はデータを残さずに編集できる2つのOfficeファイルの編集機能を提供しています。
また、PCローカルへのデータ保存を制御できるため、使いやすさとセキュリティの両軸を兼ね備えています。

2通りのOfficeファイル編集機能

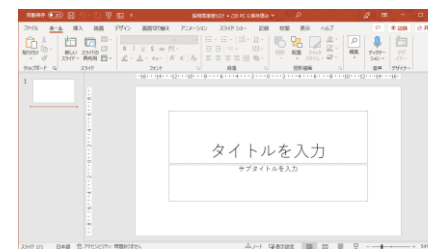
Webアプリを用いた ファイル編集



- ブラウザ上で編集できるので安心



ローカルSandboxを用いた ファイル編集

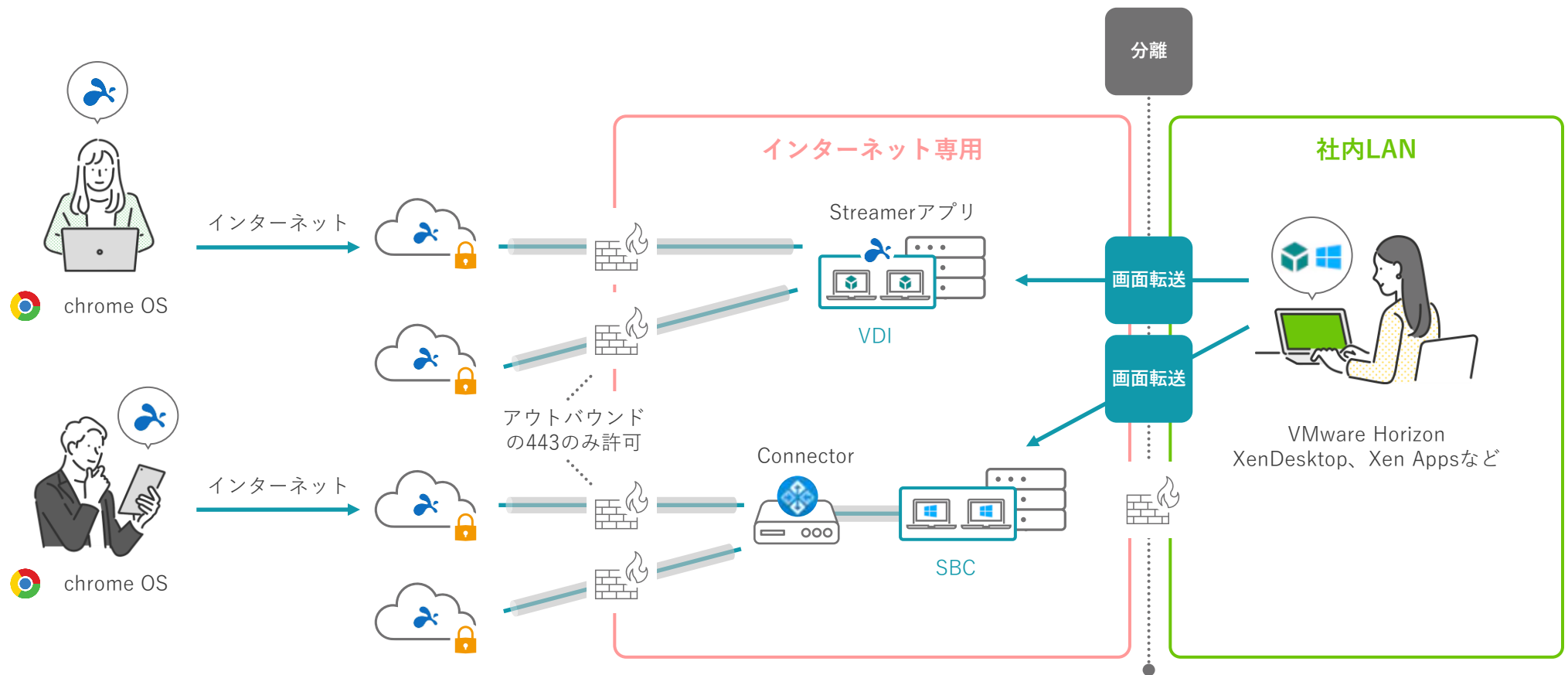


- サンドボックス内で編集できる
- 開いたファイルがウィルス感染していてもOSに影響がない
- サンドボックス内で編集したデータをmoconavi内のファイルサーバに転送できる

既存のVDIとの併用も可能！リモートデスクトップサービス『moconavi RDS』

moconavi RDSはVPN不要で既存資産を有効活用できるリモートデスクトップサービスです。VDIにはStreamerアプリを、SBCにはConnectorサーバを立てるだけで、VPNを必要とせず、外部からのリモートアクセスを実現できます。内部からインターネット側へは、アウトバウンドの443番ポートのみで通信可能。端末にデータが残らないため、BYOD環境でも安全に利用できます。

moconavi RDSの仕組み



スマホやタブレットでもセキュアな環境に

moconavi（モコナビ）は、スマートフォンやタブレットからでも社内システムや各種クラウドサービスへセキュリティ高く安全にアクセスできます。

スマホのセキュアブラウザでこんなことも

ブラウザで閲覧可能なWebサービスであれば、多くのものがmoconaviのセキュアブラウザからご利用いただけます。

CRM



訪問先の
情報をチェック

ワークフロー



移動時間で
ワークフローの
承認

勤怠管理



直行・直帰の
時はmoconavi
から打刻

グループウェア

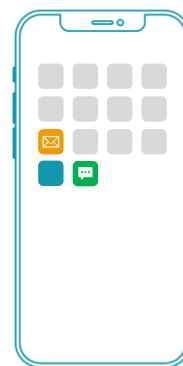


社内の掲示板や
スケジュールを
確認

moconavi×APIでMS365を使う

Microsoftの公開されたAPIを使って、moconaviアプリのメールやチャットクライアントがTeamsやOutlookのクライアントとして接続可能です。

moconavi



Microsoft Teams
(Graph API)



Exchange online
(EWS、 Graph API)

金融機関は、顧客情報や金融資産を扱うという特性上、特有のセキュリティ課題を抱えています。

サイバー攻撃の高度化に加え、内部不正やサプライチェーン攻撃などの脅威に対し、対応が求められています。

moconavi（モコナビ）は、内部不正対策、外部からの攻撃対策、標的型攻撃対策など、さまざまなセキュリティ課題の解決に貢献します。

また、既存のVDI環境を有効活用しながら、段階的にゼロトラスト環境へ移行できるため、スムーズな導入が可能です。

よりセキュアな環境の構築に向けて、ぜひmoconaviをご活用ください。



無料トライアル実施中！

最大30日間・20ユーザーまでの
無料トライアルをご用意しています。
お客様のシステム環境で実際にお試しいただけます。



サポートも充実！

トライアル中のQAや接続できないといった
トラブルシューティングは
**お客様専任の
トライアルサポートチーム**が対応します。



ABOUT US

会社名	株式会社レコモット(英語表記：recomot Inc.)
設立年月日	2005年11月
資本金	100,000,000円
所在地	〒102-0083 東京都千代田区麹町 3-3-8 麹町センタープレイス 8F
事業内容	(1) 携帯電話関連製品の開発・販売・運用 (2) コミュニケーション関連システムの受託開発 (3) 電気通信事業 届出番号：A-30-16513
代表者名	東郷 剛（代表取締役CEO）



ご不明な点やご質問・ご相談がございましたら
お気軽にご連絡ください。



03-4446-5007（平日10:00～18:00）



<https://moconavi.jp/inquiry/>



<https://moconavi.jp/>

